

日商簿記1級過去問ゼミ（CMC合格メソッド）

【第138回：工業簿記・原価計算】

収録日：平成28年03月10日

【総評】

この回は、直前の会計学の包括利益計算書で脱力感の出た方が多かったと思います。

「自分ができない時はまわりも同じ」、日商簿記1級は相対試験である事を思い出し、こんな時こそ、工原で挽回のつもりで頑張るべきです。

前半の商会もあわせると、合格者イメージは、下記のようなものだと思います。

商業簿記20点・会計学10点・工業簿記20点・原価計算20点→70点

今回は、会計学以外は比較的対応しやすかったはずで、70点超えは十分狙えました。

受験後の感想を聞くと、やはり会計学に苦しんだ方が多かったようです。

90分の使い方

5分：全体を見渡して、どこから解くかを考える

今回は得意分野にもよりますが工業簿記からの方が比較的楽だったと思います。

また穴埋め問題は計算問題とリンクするケースがあるので、わかりにくければ計算解く方法もあります。

工業簿記は第2問の穴埋めは満点狙い

問1、2は2級に近い問題で確実に。問3は原料差異、労働賃率差異、予算差異、不働能力差異は比較的簡単なはず。ここまででうまくいくと傾斜込で22点くらいの可能性もあります。

原価計算は

第2問の問1はかなり簡単（2級+@レベル）

問3の各設問も電卓だけで計算できるレベルです。

問2に関しては、しっかりP/L作成の必要があるので時間が余ればというところでしょうか。

穴埋めは結構難しいので2~3問とれば十分でしょう

ここらで20点くらいは確保できると思います